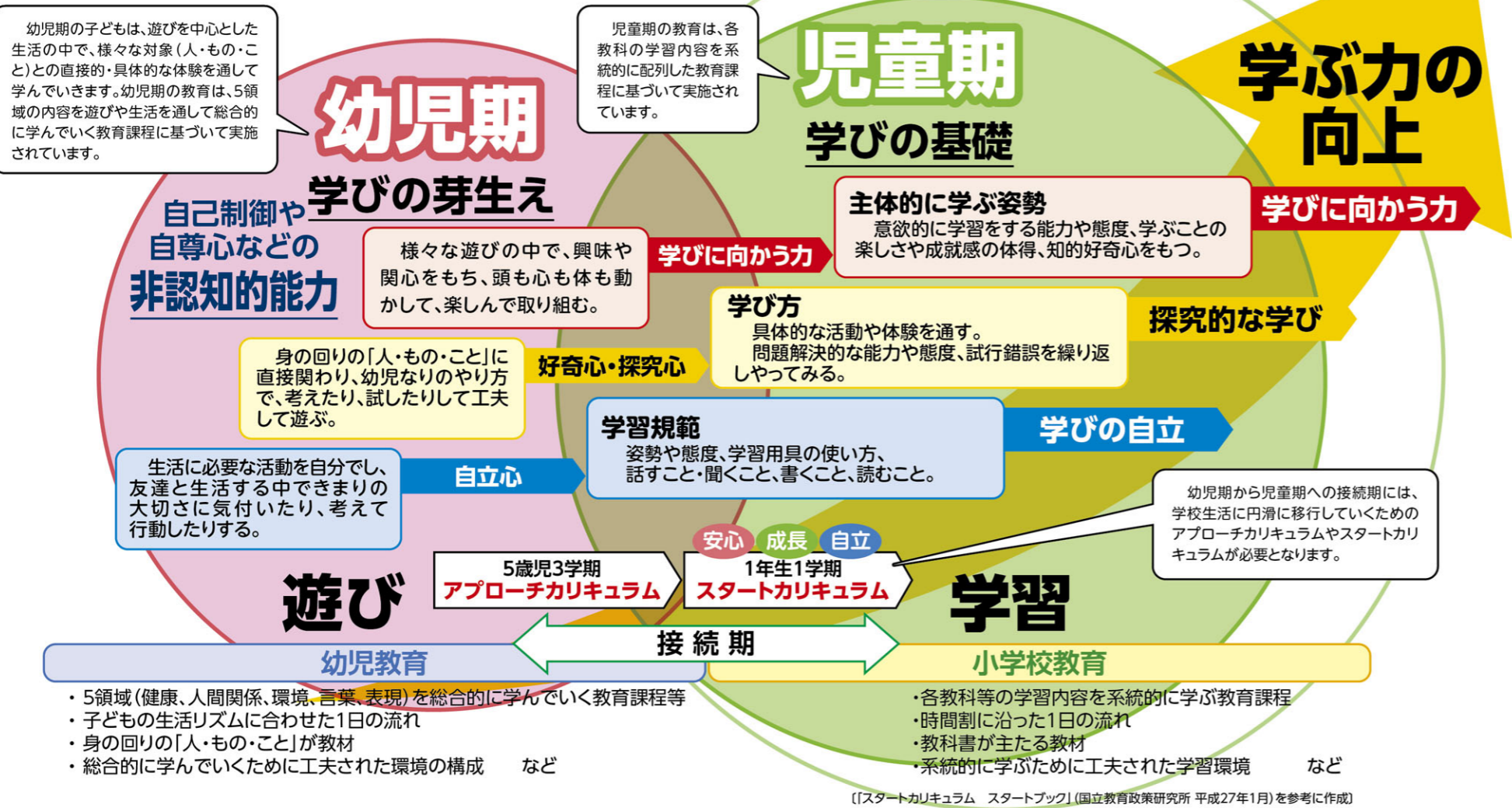


「学びの基礎」の3つの要素からみる幼児期と児童期のつながりの概念図



学びの基礎指導の手引き 改訂版

具体的な活動や体験を通して「学びの基礎」を育む
幼児期の「学びの芽生え」を児童期の「学びの基礎」につなぎ、子どもたちの学び力をつけます



「学びの基礎」の3つの要素

主体的に学ぶ姿勢

子どもが知的好奇心をもって意欲的に学習をする能力や態度、学ぶことの楽しさや達成感を体得すること。

学び方

具体的な活動や体験を通して学んだり、試行錯誤を繰り返してやってみたりしながら、問題解決的に学んでいくこと。

学習規範

学習規律の他に、学習用具の使い方や話したり聞いたり書いたり読んだりすること。

みずみずしい葉を生き茂らせ、たくましい大樹となるようにするためには、幹を支える、しっかりとした根っこが必要です。子どもたちが将来出会う未知の課題に、自ら判断して行動できるようにするためには、「生きる力」につながる確かな学力を育む必要があります。その基盤となるのが学び力であり、基盤となる学び力の土壌が、小学校低学年で育てたい「学びの基礎」であると考えます。

幼児教育の内容と小学校教育の教科等との関連

国語	算数	社会	総合的な学習の時間	理科	音楽	図画工作	体育	道徳	特別活動
		生活科							

スタートカリキュラムを通じて、各教科等の特質に応じた学びにつなぐ

幼児期の終わりまでに育てほしい姿

健康な心と体

充実感や満足感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせながら取り組むようになる。

自立心

自分でしなければならないことを自覚して行い、諦めずにやり遂げることで満足感や達成感を味わいながら、自信をもって行動するようになる。

協同性

互いの思いや考えなどを共有し、工夫したり、協力したりする充実感を味わいながらやり遂げるようになる。

道徳性・規範意識の芽生え

してよいことや悪いことが分かり、相手の立場に立って行動するとともに、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、決まりを作ったり守ったりするようになる。

社会生活との関わり

家族を大切にしようとする気持ちをもったり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に一層の親しみをもったりするようになる。

思考力の芽生え

思い巡らし予想したり、工夫したりなど多様な関わりを楽しみ、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。

自然との関わり・生命尊重

自然に触れて感動する体験を通して、身近な事象への関心が高まったり、自然への愛情や畏敬の念をもったりするようになる。

数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

数量などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりして、数量・図形、文字等への関心・感覚が高まるようになる。

言葉による伝え合い

言葉を通して先生や友達と心を通わせ、豊かな言葉や表現を身に付けるとともに、思い巡らしたことを言葉で表現して楽しむようになる。

豊かな感性と表現

感じたことや思い巡らしたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりするようになる。

アプローチカリキュラムを通じて、学びに向かう力を小学校教育につなぐ

健康 人間関係 環境 言葉 表現

〔幼稚園教育要領〕〔保育所保育指針〕〔幼保連携型認定こども園教育・保育要領〕にねらいや内容として示されている5つの領域

〔幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)〕(平成28年12月21日中央教育審議会)を参考に作成

平成29年3月
滋賀県教育委員会

学びの芽生え(幼児期)

- 体を動かす** 健康
 - いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。
 - 様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。
- 自立心を育てる** 人間関係
 - 自分で考え、自分で行動する。
 - 自分でできることは自分でする。
 - いろいろな遊びを楽しみながらやり遂げようとする気持ちをもつ。
- 興味や関心をもつ** 環境
 - 自然などの身近な事象に関心を持ち、取り入れて遊ぶ。
 - 日常生活の中で数量や図形、簡単な標識や文字などに関心をもつ。
- 本に親しみ、想像する** 言葉
 - 絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像をする楽しさを味わう。
 - 日常生活の中で、文字などで伝える楽しさを味わう。
- 伝え合う楽しさを味わう** 表現
 - 様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わう。
 - 自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりするなどの楽しさを味わう。

主体的に学ぶ姿勢

学びの基礎(児童期)

- 【意欲的に学習をする能力や態度】**
 - 学ぶことに興味をもつ。
 - 分からないことは、自分で調べる。
 - 自ら考え行動しようとする気持ちをもつ。
 - がんばったことやできるようになったことで自信をもつ。
 - 新たな問題に果敢にチャレンジしようとする。
 - 思いきり体を動かして汗をかく。
- 【学ぶことの楽しさや成就感の体得】**
 - 人と関わりをもつことにうれしさを感じる。
 - 自分だけでなく、仲間と協働して解決する。
 - 友だちとの触れ合いの中で、自己を発揮する。
 - 認められることで自己存在感や充実感を味わう。
 - 新しい考えを生み出す喜びや楽しさを味わう。
- 【興味や関心をもつこと】**
 - 文字や数に興味をもつ。自然に興味をもつ。
 - 興味や関心が芽生えたことに夢中になる。
 - もっとやってみたいという気持ちをもつ。

指導のポイント

- 【しっかりほめる、認める、評価する】** 成長
 - ・周りの子どもも「できているな」と分かることや子ども自身も「できているな」と感じていること、自分で気づいていないこと(教師が価値付ける)をほめる。
 - ・自ら進んでしてきたことや進歩がなくても続けていることを認め、定期的に、客観的な評価をする。
- 【共感する】** 安心
 - ・「良かった」瞬間と一緒に喜び。
 - ・子どもの思いに寄り添う。



学びに向かう力の育成につながります

低学年において、主体的に学習をする姿勢や態度、学ぶ事の楽しさや成就感を体得することは、どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか、学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力の育成につながります。学ぶことの楽しさや成就感を体得するためには、具体的な活動や体験を通すことが重要です。

- 【見通しをもつ】** 健康
 - 生活の仕方を知り、自分たちで生活の場を整えながら見直しをもって行動する。
- 【人と関わる】** 人間関係
 - 自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く。
 - 友達と楽しく活動する中で、共通の目的を見だし、工夫したり、協力したりなどする。
- 【発見を楽しみ、考える】** 環境
 - 自然に触れて生活し、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く。
 - 身近な物や遊具に興味をもって関わり、考えたり、試したりして工夫して遊ぶ。
- 【自分の言葉で話す】** 言葉
 - したり、見たり、聞いたり、感じたり、考えたりなどしたことを自分なりに言葉で表現する。
 - いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする。
- 【表現を楽しみ、工夫する】** 表現
 - 生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにする。
 - いろいろな素材に親しみ、工夫して遊ぶ。

学び方

- 【具体的な活動や体験を通すこと】**
 - 直接触ったり、操作したりして考える。
 - 身近なものやことを見たり、聞いたりする。
 - 教室の中だけでなく、外に出て活動する。
 - 人と関わり、一緒に活動したり、つくったりする。
 - 身の回りにあるものを自分と一体として理解する。
- 【問題解決的な能力や態度】**
 - 自分たちで問題を見つけて、解決しようとする。
 - これまでに学んだことを使って問題を解決する。
 - 自分なりのやり方で取り組む。
 - 環境に好奇心や探究心をもって関わる。
 - 仲間とともに問題を解決する。
- 【試行錯誤を繰り返すこと】**
 - 試行錯誤を繰り返す中で、新たなものを創造する。
 - 繰り返し努力することをいとわない。または、楽しむ。
 - 失敗してもあきらめずに、最後までやりきる。

指導のポイント

- 【身近な事象を取り扱う】** 安心
 - ・子どもたちの身の回りにあるものを教材化する。
 - ・子どもにとっての必然性の高いものを教材化する。
 - ・子どもが思いついた方法をすぐに試せるような環境を用意する。
- 【活動に没頭できるようにする】** 成長
 - ・時間や場所にゆとりをもつ。
 - ・上手くいかなかった理由を考えて失敗を生かす。
 - ・繰り返し学ぶこと、あきらめずに学び続けることを価値付けて、意欲を持続させる。



探究的な学びにつながります

子どもが試行錯誤を繰り返しながら学んでいく「学び方」は、中学年以降の探究的な学習につながっていきます。一回で成功することよりも、トライ＆エラーを繰り返して学ぶことに価値付けをしていきたいものです。自分なりのやり方や多様性を保障することは、「何を学ぶか」から「どのように学ぶか」という、問題解決的な学びのプロセスを大切にすることであり、深い学びにつながっていきます。

- 【健康な心と身体を育てる】** 健康
 - 健康な生活のリズムを身に付ける。
 - 生活に必要な活動を自分でする。
- 【規範意識の芽生えを培う】** 人間関係
 - よいことや悪いことがあることに気付き、考えながら行動する。
 - 友達と楽しく生活する中でまじりの大切さに気付き、守ろうとする。
- 【生命やものを大切にする】** 環境
 - 身近な動植物に親しみをもって接し、生命の尊さに気付き、いたわったり、大切にしたりする。
 - 身近な物を大切にする。
- 【話を聞く、話す】** 言葉
 - 生活の中で必要な言葉が分かり、使う。
 - 人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す。
 - 親しみをもって日常のあいさつをする。

学習規範

- 【姿勢や態度】**
 - 先生や友達の話をしっかり聞く。
 - 学習中、姿勢を保つ。
 - 集中して課題に取り組む。
 - 身の回りの整理整頓をする。
 - 授業と休み時間の区別など時間を守る。
 - 学習課題にすぐに取り組む。
 - 下敷きを敷いて、ノートをとる。板書を写す。
- 【学習用具の使い方】**
 - 学習に必要な用具が揃っている。(不要な物は持ってこない)
 - 正しい鉛筆の持ち方で文字を書く。
 - 学習用具を大切に使う。
- 【話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと】**
 - 黙って手を上げて、指名されてから発表する。
 - 話を聞くときは、話し手の目を見る。
 - 自分の考えたことを書く。

指導のポイント

- 【共通理解から共通実践へ】** 安心
 - ・全校で統一した指導をする。
 - ・誰もが分かるようにする。(例:各教室に掲示する、ガイドブックを作る、保護者にも説明する等)
 - ・できたことをほめ、認めることで、学習習慣の定着を図る。
- 【成長を見守る】** 成長
 - ・指導の重点を絞って取り組む。
 - ・変化が見られるまで粘り強く続ける。
 - ・実現可能な目標を立ててレベルアップを図る。



自立への基礎を養う

- ・自分でできることは自分でさせる。
- ・自分たちで決めた約束は必ず守らせる。
- ・成長や伸びを子どもにフィードバックする。

学びの自立につながります

学びの姿勢や態度の他、学習用具の使い方や読んだり書いたり聞いたり話したりすることにおける学習規範は、集団や実生活の中で人との関わりを通して、体験的に育成されます。実体験を通して育成された学習規範は、自ら学ぶ学びの自立につながります。